

合併処理浄化槽

川をまもる 海をまもる 地球をまもる 浄化槽

～あなたにも今すぐできる生活排水対策～



設置の申込、問い合わせは
生活環境課上下水道係
庁舎1階14番窓口
☎73-5501

水の汚れのおはなし

水の汚れはどうしたらわかるの？

私たちが健康で気持ちよく暮らしていくためには、水や空気がきれいでなければなりません。そのために、みんなで努力して守ろうと決めた目標があります。「環境基準」というものです。川の環境基準では、水の汚れ具合を表すものさしの一つとして、BODが用いられています。水の汚れ具合は、ほかのことからもわかります。みなさんは、川や湖や海の水を見てきれいとか汚いとか感じますね。何を手がかりに判断しているのでしょうか。水の色、透明度、におい、浮いているゴミなどからですね。そのほか、そこに住んでいる魚や貝や昆虫によっても、水がどのくらい汚れているかわかります。

BODって何？

水の汚れ具合を表すものさしの一つで、この数字が大きくなるとそれだけ水が腐りやすい（ドブ川になりやすい）ことを表しています。汚れた水をきれいにする主役は、川底の石などについているヌルヌルした膜です。この膜を顕微鏡でのぞくと、細菌やカビ、ツリガネムシやゾウリムシなどの小さな生物（微生物）たちが、たくさん観察できます。この微生物たちが汚れを食べてくれるので、水はきれいになるのです。その時に微生物たちが使う酸素の量が、BOD（生物化学的酸素要求量）です。なお、魚が安心して住める川の水のBODは5 / 以下と言われていると思います。みなさんは、米代川のBODはどれくらいだと思いますか。銀杏橋付近で、1 / （平成16年版環境白書参考）になっています。

合併処理浄化槽は、家庭から排出される生活雑排水のBODを90%以上除去し、川や湖の汚れを抑えることに役立ちます。

ニツ井町環境管理システム 環境について考えよう

バイオマスエネルギー

バイオマスとは、生物資源（bio）の量（mass）を表す概念で、一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」をバイオマスと呼び、代表的なものにはペレットなどの木質バイオマスや生ごみなどの廃棄物、家畜の糞尿、食用油が挙げられます。

これらのバイオマスを燃焼したり、化学的にメタンやメタノールなどで抽出し発電等に利用するエネルギーをバイオマスエネルギーと呼び、もともとは太陽エネルギーと大気中の二酸化炭素が植物の光合成により変換され、生物体内に貯えられた有機物を利用するため、化石資源とは異なる再生可能なエネルギーです。



いぶした木材から発生するガスを利用した木ガス発電

環境管理事務局（21創造課）